

山形大学工学部履修要項（Bコース）【平成17年度入学者用】

成績評価制度について

合格した成績の評定をS, A, B, Cの4段階で行い, GPA (Grade Point Average) を付加します。

(1) 成績評価区分と付加されるGP (Grade Point) について

成績評価は, 以下の表に定める区分により行われ, それぞれのGPが付加されます。

評価区分	評定記号と評価内容	付加されるGP
100～90点	S：特に優れた成績である	4
89～80点	A：優れた成績である	3
79～70点	B：概ね妥当な成績である	2
69～60点	C：合格に必要な最低限度を満たした成績である	1
59～0点	F：合格には至らない成績である	0
	N：単位認定科目であり, GPAの対象としない	なし

(2) GPAとは

GPAは, 高等学校の評定平均値のように, 学修の成績を総合的に判断するための学習指標です。GPAの算出方法は, 各自が修得したそれぞれの単位数にGPをかけ, その合計GPを履修登録した科目（適用除外科目を除く）の総単位数で割って算出します。

(例) GPA算出方法

科目名	評定	単位数	GP	
○○○○○基礎	S	2単位	4	$2 \times 4 = 8$
△△△△△実験1	F	1単位	0	$1 \times 0 = 0$
◇◇◇◇◇実験2	A	2単位	3	$2 \times 3 = 6$
合計		5単位		14点

$$GPA = 14 \text{ 点} \div 5 \text{ 単位} = \underline{2.8} \text{ (小数点第3位以下切り捨て)}$$

(↑この単位数にはF：不合格科目の単位数も含まれます。)

(3) GPAの適用除外科目について

GPAは, すべての授業科目を対象とします。(補習授業を含む)

ただし, 単位の取得のみで評価を付さない次の科目については除外されます。

- ① 合格か不合格かだけを判定する授業科目
- ② 編入学または転入学した際の単位認定科目
- ③ 本学入学前に修得した単位認定科目(学則第62条)
- ④ 他大学との単位互換等で修得した科目(学則第61条)

授業科目

授業科目は, 教養教育科目(一般教育科目, 外国語科目)と専門教育科目(専門基礎科目, 専門科目)に分けられます。

工学部Bコースの教育課程では, 学生は, 入学時から米沢地区に在学し, 教養教育科目と専門教育科目を並行して学習します。

－工学部Bコース履修スケジュール－

1年次学生	2年次学生	3年次学生	4年次学生
一般教育科目 (工学部推奨科目を含む) 外国語科目	専門基礎科目	専門科目	卒業研究

教養教育科目

(1) 一般教育科目

一般教育科目のうち、卒業要件は、20単位です。

(2) 外国語科目

外国語科目のうち工学部Bコースの卒業要件は、英語4単位です。

また、英語以外の外国語（以下「他の外国語」という。）は、修得すると4単位まで自由科目として卒業単位に数えることができます。

① 英語

英語は、1年次に4単位開講されます。

② 他の外国語

他の外国語は、1年次にドイツ語及び中国語がそれぞれ4単位開講されます。

(3) 卒業要件を超えて修得した単位の取扱い

卒業要件を超えて修得した単位については、

ア. 一般教育科目 2単位まで

イ. 英語以外の外国語の合計 4単位まで

の合計6単位までを、専門教育科目の自由科目として卒業単位に数えることができます。

なお、自由科目の履修については、各学科の履修心得を参照してください。

専門教育科目

専門教育科目は、「各学科のカリキュラム」のとおりです。

専門教育科目の開講科目、開講期、授業内容等は「山形大学Syllabus工学部編」（山形大学シラバスホームページ<http://kbweb3.kj.yamagata-u.ac.jp/2005/home.htm>）によってください。

Aコース履修可能科目

Aコース履修可能科目とは、Bコース学生の履修が認められているAコースの授業科目で、「Aコース履修可能科目一覧」のとおり、各学科ごとに定められています。Aコース履修可能科目の修得単位については、30単位まで選択科目として認められます。ただし、卒業研究をAコースで行う場合は、20単位まで認められます。

卒業に要する最低修得単位数

次の表は卒業に必要な最低修得単位数を示したものであり、専門教育科目の必修科目、選択必修科目及び選択科目の単位数については、学科ごとに異なるので、所属する学科の履修心得に注意してください。

区分	学科	機能高分子工学科	物質化学工学科	機械システム工学科	電気電子工学科	情報科学科	応用生命システム工学科
一般教育科目		20	20	20	20	20	20
外国語科目		4	4	4	4	4	4
専門教育科目	必修科目	28	26	20	22	18	18
	選択必修科目	44	22	4	8	8	8
	選択科目	12	36	60	54	58	58
	自由科目	6	6	6	6	6	6
	卒業研究	10	10	10	10	10	10
合計		124	124	124	124	124	124

電気電子工学科履修心得

1. 科目の履修について

授業科目は、カリキュラム表（電気電子工学科授業科目及び単位数表）にしたがって開講される。履修にあたっては、履修心得に留意して学習の計画を立てること。

また、カリキュラム表に示されている授業科目は、種々の事情により多少変更することがある。この場合には、掲示等により周知する。

カリキュラム表中の記号の説明

(1) 「必修・選択の別」の欄

◎印：必修科目

○印：選択必修科目

無印：選択科目

(2) 「単位数」の欄

[]：修得可能な最大単位数

種々の事情により開講単位数に変更が生じる場合がある。

(3) 「教職科目」の欄

☆印を付した授業科目は、教員免許取得に係わる科目である。詳細は、各種資格欄の「I. 教育職員免許状について」を参照のこと。

2. 卒業に要する専門教育科目の最低修得単位について

〈卒業に必要な最低修得単位数表〉

区	分	単位数
専門教育科目	必修科目	22
	選択必修科目	8
	選択科目	54
	自由科目	6
	卒業研究	10
計		100

- ① 選択必修科目の単位を必要単位数を超えて修得した場合には、その単位数を選択科目の単位とみなす。
- ② 選択科目の修得単位数には、他学科開講専門科目の修得単位数が含まれる。また、選択科目の単位を必要単位数を超えて修得した場合には、その単位数を自由科目の単位とみなす。
- ③ 自由科目の修得単位数には、一般教育科目及び他の外国語の修得単位数を含めることができる。詳細は、「山形大学工学部履修要項（Bコース）」中、10. 教養教育科目を参照のこと。

3. 選択必修科目の修得について

選択必修科目 8 単位は、次の条件を満たして修得すること。

専門基礎科目 12単位中 8 単位

4. 卒業研究着手条件について

下記の条件を満たした者は、7 学期より卒業研究に着手できる。

(1) 一般教育科目及び外国語科目

一般教育科目……………20単位以上

外国語科目 英語……………4 単位

の合計24単位以上を修得している。

(2) 6 学期末までのすべての必修科目 (18単位) を修得している。

(3) 選択必修科目修得条件の上記 3. の 8 単位を修得している。

(4) 上記(2)(3)を含む74単位以上を修得している。(ただし、74単位には自由科目として卒業単位に数えられる「一般教育科目」及び「他の外国語」を含む。)

5. 他学科開講授業科目の履修について

他学科に開講されている B コース専門科目は、6 単位まで選択科目として修得することができる。履修を希望する場合には、学年担任教員及び当該授業担当教員の許可を得なければならない。

なお、他学科に開講されている専門基礎科目及び自学科開講科目と同一名の科目は、履修できないので注意すること。

6. A コース開講科目の履修について

A コース開講科目で履修可能な科目が別表のように指定されている。A コース履修可能科目の修得単位については、30 単位まで選択科目として認められる。

なお、卒業研究及び輪講は必修科目であるが、A コースの卒業研究及び輪講を履修することによって、B コースの卒業研究及び輪講に代えることができる。(この場合には上述の選択科目として認められる単位は18単位となる)。ただし、B コースと A コースの両コースの卒業研究及び輪講を履修することはできない。

7. 電気電子工学科の卒業者で、工学部在学中に必要な科目の単位を修得し、卒業後に事業所等において一定の経験年数を有する者は、通商産業省の定める第 1 種及び第 2 種電気主任技術者免状取得の資格が得られる。

なお、「電気法規及び施設管理」は、隔年に開講される。

8. その他

(1) (注意) 受講科目の試験で不合格となった科目、並びに履修届を出したが受講を途中でやめたり、試験を受けなかったなどの科目には評価 F (不可) がつけられ記録として残される。評価 F が多い者は成績評価で不利となる。履修に当たっては、このことを良く考慮すること。

なお、履修手続をした後でも履修登録期間終了から約1週間後の登録科目確認期間で、履修科目の変更、取り消しが可能である。詳しくは、P5, “11. 履修の手続等について”を参照のこと。

- (2) 卒業研究を実りあるものとするために、3年次終了までに、4年次開講の必修科目(卒業研究、輪講等)を除く卒業に必要な最低単位数を満たしていることが望ましい。

電気電子工学科授業科目及び単位数表

専門教育科目

区分	授業科目名	単位数	開講期及び週時間数								必修・選択の別	教職科目	担当教員		
			1学期	2学期	3学期	4学期	5学期	6学期	7学期	8学期					
専門基礎科目	数学入門A	2	2									○		共通講座教員	
	物理学 I	2	2									○		共通講座教員	
	数学入門B	2		2								○		共通講座教員	
	物理学 II	2		2								○		共通講座教員	
	物理学実験	2			4							◎		共通講座教員, 非常勤講師	
	英語 A	2			2							◎		非常勤講師	
	確率統計学	2				2						○		共通講座教員	
	英語 B	2				2								非常勤講師	
	数値計算法	2					2					○	☆	共通講座教員	
	機械システム概論	2					2						☆	機械システム 工学科教員	
	化学概論	2						2						物質化学工学科 教員	
	特別講義	[2]													非常勤講師
	小計	22 [24]	4	4	6	4	4	2							
専門科目	情報処理演習	2	2										☆	横山	
	電磁気学 I	2		2								◎	☆	河口	
	プログラミング演習 I	2		2								◎		廣瀬 (文)	
	電気回路 I	2			2							◎	☆	平田	
	電子物性	2			2							◎	☆	稲葉	
	電磁気学 II	2			2								☆	石井	
	電磁気学演習	2			2								☆	神戸	
	計算機基礎	2			2								☆	田村	
	情報数学	2			2								☆	小林	
	プログラミング演習 II	2			2							◎	☆	田中	
電気回路 II	2				2							☆	渡部		

区分	授業科目名	単位数	開講期及び週時間数								必修・選択の別	教職科目	担当教員
			1学期	2学期	3学期	4学期	5学期	6学期	7学期	8学期			
専門科目	電気回路演習	2				2						☆	杉 本
	電子回路	2				2						☆	後 藤
	論理回路	2				2						☆	樋 口
	情報理論	2				2						☆	古 閑
	プログラミング演習Ⅲ	2				2						☆	湯 浅
	半導体工学	2					2					☆	高 橋 (豊)
	アナログ回路	2					2					☆	中 川
	システム基礎	2					2					☆	近 藤
	エネルギー変換	2					2					☆	東 山
	計測工学	2					2					☆	佐 藤 (学)
	システム数値演習	2					2					☆	渡 部
	電気電子工学実験Ⅰ	2					4				◎	☆	電気電子工学科員 教
	光エレクトロニクス	2						2				☆	佐 藤 (学)
	電気電子材料	2						2				☆	大 嶋
	信号処理	2						2				☆	市 村
	制御工学	2						2				☆	渡 部
	数値解析	2						2				☆	神 谷
	ソフトウェア工学	2						2				☆	市 古
	電気電子工学実験Ⅱ	2						4			◎	☆	電気電子工学科員 教
	電子デバイス	2							2			☆	松 下
画像工学	2							2			☆	湯 浅	
情報システム設計とOS	2							2			☆	市 古	
マイクロプロセッサとインタフェース	2							2			☆	金 子	
電気電子工学実験Ⅲ	2							4		◎	☆	電気電子工学科員 教	
輪講	2							2		◎	☆	//	
学外実習(インターンシップ)(注)¹	1												

区分	授業科目名	単位数	開講期及び週時間数								必修・選択の別	教職科目	担当教員
			1学期	2学期	3学期	4学期	5学期	6学期	7学期	8学期			
専門科目	単位互換科目(注) ²												
	卒業研究(注) ³	10									◎		電気電子工学科 教員
	小計	83	2	4	14	12	16	16	14				
合計		105 [107]	6	8	20	16	20	20	14				

(注)1 学外実習(インターンシップ)は、3年次(5学期または6学期)の希望者を対象とする。

(注)2 「単位互換科目」の詳細については、巻末の「単位互換」を参照のこと。

(注)3 卒業研究着手条件を満たした者に対して、7学期及び8学期に開講される。

電気電子工学科 A コース履修可能科目

専門教育科目

区分	授業科目名	単位数	開講期及び週時間数								教職科目	担当教員	
			1学期	2学期	3学期	4学期	5学期	6学期	7学期	8学期			
専門基礎科目	数学Ⅲ	2				2							共通講座教員
	数学Ⅳ	2				2							共通講座教員
	高分子科学	2								2		☆	機能高分子工学科教員
	技術者倫理	1				1						☆	非常勤講師
専門科目	電子物性Ⅱ	2				2						☆	大 嶋
	環境論	1				1						☆	南 谷
	電力工学	2							2			☆	東 山
	デジタル回路	2							2			☆	広 瀬 (精)
	情報通信	2							2			☆	中 川
	パワーエレクトロニクス	2							2			☆	八 塚
	通信システム	2							2			☆	河 口
	エネルギー輸送	2								2		☆	東 山
	基礎製図	2								2		☆	稲 葉, 平 野
	電気電子工学特別講義	2								2		☆	非常勤講師
	電気法規及び施設管理	1									1	☆	〃
	輪講	2									2	☆	電気電子工学科教員
卒業研究	10											〃	
合 計		39				8			10	10	1		